



RTK Dual-band GNSS Receiver

ジ オ ウ オ 一 カ 一

GEO WALKER

2周波RTK-GNSS受信機

WayPoint計測・
ナビゲーション機能
マニュアル

はじめに

この度はGW01をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本書はGEO WALKERでWayPoint計測（単点計測）をおこなう為の手順を記載しております。

本書の指示に従って設定を行ってください。

v1.0.0

はじめに	0
目次	1
1. WayPoint 計測（単点計測）		
1-1. セッションを編集する	3
1-2. WayPoint の記録	6
2. ナビゲーション機能 - 事前準備	8
2-1. 座標値を直接入力する	9
2-2. 外部から測量データを取り込む	11
3. ナビゲーション機能	15

 **注意****■初期設定について**

本書は、計測時の手順を記載したものであり、ネットワーク RTK 及び RTK の設定が完了している前提での説明が含まれています。

計測までの設定方法は、クイックスタートガイドや特設ホームページ内のクイックスタートムービーをご参照ください。

1-1. セッションを編集する

WayPoint 計測は、任意の点を記録する GEO WALKER シリーズの基本的な機能です。あらかじめセッションを作成することで、記録にかかる時間を短縮しています。

セッションとは

点を記録した際に保存されるファイルをセッションと呼びます。点を記録する前にセッションの設定を編集しておく必要があります。一部は、手簿・記簿を出力したい場合に反映される項目です。手簿・記簿の出力をしない場合は一部項目の入力をスキップしても問題ありません。

①セッションはマップ右上の項目から設定をおこないます。



②各種項目を設定します。下画像は、セッションの設定画面です。
選択する測量方法によって設定項目が異なります。次ページから各種項目について、解説いたします。

Session Settings

セッション	92A	+
測量方法	フリー観測(単点...)	<input type="checkbox"/> 日本の測量法準拠
観測者	myzox	
取得間隔	1sec	
受信機	GEO WALKER PRO	
受信機 S/N	000000	
アンテナ	GEO WALKER PRO	
アンテナ S/N	000000	
アンテナ座面高	1.200	
アンテナ定数(m)	0.071	
アンテナ高(m)	1.271	
		
<input checked="" type="checkbox"/> Fix以外をエラーとする <input type="checkbox"/> セッション全点で同一基準局座標が必須		
CANCEL OK		

Session Settings

セッション	92A	+
測量方法	基準点測量 RTK法	<input type="checkbox"/> 日本の測量法準拠
観測方法	直接法	
観測者	myzox	
取得間隔	1sec	
受信機	GEO WALKER PRO	
受信機 S/N	000000	
アンテナ	GEO WALKER PRO	
アンテナ S/N	000000	
アンテナ座面高	1.200	
アンテナ定数(m)	0.071	
アンテナ高(m)	1.271	
		
基準局 点番号 _____ 点名 _____ 受信機 _____ 受信機 S/N _____ アンテナ Other アンテナ名 _____ アンテナ S/N _____ アンテナ座面高 (m) 0.000 アンテナ定数(m) 0.000 アンテナ高(m) 0.000 データ間隔(sec) 0.0 最低仰角 0		
CANCEL OK		

Session Settings

セッション	92A	+
測量方法	基準点測量 ネット... <input type="checkbox"/> 日本の測量法準拠	
観測方法	直接法	
観測者	myzox	
取得間隔	1sec	
受信機	GEO WALKER PRO	
受信機 S/N	000000	
アンテナ	GEO WALKER PRO	
アンテナ S/N	000000	
アンテナ座面高	1.200	
アンテナ定数(m)	0.071	
アンテナ高(m)	1.271	
		
基準局 点番号 _____ 点名 _____ CANCEL OK		

セッション内の項目について

セッション名	セッション名は自動で決まります。詳細は 5 ページを参照ください。
測量方法	フリー観測（単点計測）/ 基準点測量 RTK 法 / 基準点測量 ネットワークRTK法の 3 種類から選択します。
日本の測量法準拠	※基準点測量を選択時のみ ✓を入れると日本の測量法に準拠した設定以外の時にエラーを返します。
観測方法	※基準点測量を選択時のみ 直接法 / 間接法 1台準同時の 2 種類から選択します。
観測者	任意の名前を入力します。
取得間隔	※フリー観測（単点計測）を選択時のみ 1sec/Update Rate から選択します。Update Rate の場合、設定の計測・更新レートで設定したレートに準拠します。
受信機・受信機 S/N	お使いの GEO WALKER シリーズを選択します。S/N はシリアルナンバーを指します。本体底面 Serial No. の横にある 6 衔の数字を入力します。
アンテナ・アンテナ S/N	受信機・受信機 S/N と同一の内容を選択します。選択した受信機によって、後述のアンテナ定数が自動で入力されます。
アンテナ座面高	ポールから本体底面までの高さを入力します。
アンテナ定数 (m)	本体底面から内部にあるアンテナの位相中心までの高さです。 お使いのアンテナを選択した際に自動で入力されます。 ※GEO WALKER の場合 :80mm GEO WALKER PRO の場合 :71mm
アンテナ高 (m)	アンテナ座面高とアンテナ定数を足した数値です。 両方を入力すると自動で算出されます。
FIX 以外をエラーとする	※フリー観測（単点計測）を選択時のみ ✓を入れると測位状態が FIX 以外の場合にエラーを返します。
セッション全点で同一基準局座標が必須	※フリー観測（単点計測）を選択時のみ ✓を入れると前回記録したデータと基準点が異なる状態で記録しようとした場合にエラーを返します。
基準局	※基準点測量を選択時のみ 基準局の各種項目を入力します。

セッション名のルール

セッション名は以下のルールに基づいて決定されます。

- ・その年の1月1日からの通算日+A~ZZで構成されます。

最初に作られるセッションは通算日+Aです。その日のうちにセッションを更新すると通算日+Bになります。再度更新すると、通算日+Cとなります。

例) 1月1日に作られるセッション名 =1A,1B,1C…

2月1日に作られるセッション名 =32A,32B,32C…

- ・日付が変わると新しいセッション（通算日+A）に自動で切り替わります。

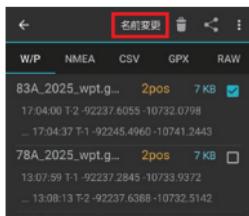
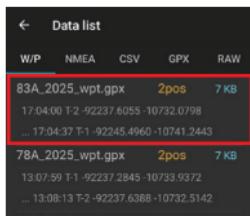
セッションの更新

セッションを分けたい場合はセッション名の右にある アイコンをタップします。タップするとセッションが更新され、通算日の後ろのアルファベットが進みます。
(現在のセッションで一度も記録をしていない場合は更新できません。)

セッション名の変更

記録をおこなったセッションに限り、セッション名の変更が可能です。

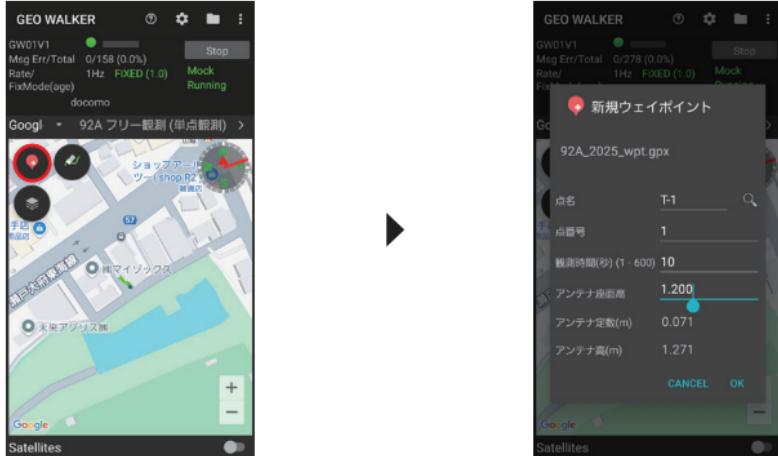
- ①トップ画面から マークをタップします。
- ②変更したいセッションを長押しします。
- ③上部の【名前変更】から名前を変更します。



1-2.WayPoint の記録

Start ボタンを押して計測を開始した後、以下の操作から座標を記録します。

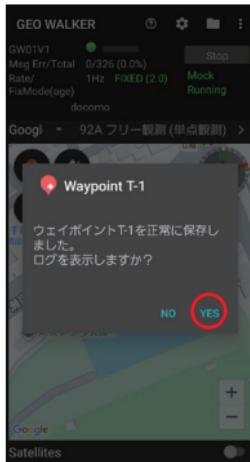
① (パルーン)アイコンをタップします。【新規ウェイポイント】に遷移します。



②点名と点番号を入力します。アンテナ座面高はセッションで入力した数値が反映されます。確認した後、OK をタップすることで座標を記録できます。



③記録完了後、[YES] を選択することで記録した座標を確認することができます。



Session		
測量方法	GNSS 調査者	myzox
受信機	GEO WALKER_受信機 S/N	000000
アンテナ S/N		000000
T-1	1	GEO_JGD2011_R
Lat/Lng	35.168527352 137.04885030	
JPN	-92237.4065	-10732.0508
Ellipsoid Height	108.1740	
Ele	69.1862	
Geoid: GSIGEO 2024 V1.0	38.9878	
Antenna Height	1.200 0.071 1.271	
Start:	2025-04-02 15:46:40.000	
End:	2025-04-02 15:46:49.000	
FixMode:	3D DGPS FIXED	
Satellites:	L1 L2 E1 E5b L10F L20F	
Carrier sats:	G.8 R.6 E.6 Q.3	
Epochs/Sat/MinE...	10 26 15.0	
StdDev Hor/Vert:	0.0041 0.0025	
Last Acc Hor/Vert:	0.014 0.012	
Last DOP H/V/P:	0.5 1.0 1.2	
Tilt Correction:	OFF	
Base pos:	35.128110305 137.041283390	10.0

点名・点番のコピー機能

バルーンアイコンをタップした際に、点名の右に アイコンが表示されます。このアイコンをタップすると同一セッション内の点から、現在位置に最も近い点の点名と点番をコピーします。同じ点を 2 回測りたいときなどに有用です。

※後述のナビゲーション機能で使用する「ウェイポイントのロード」を使用すれば他のセッションの点名・点番もコピーが可能です。



ナビゲーション機能とは

座標の分かっている任意の測点まで誘導を行う機能です。

測点と GEO WALKER 本体から測点までの距離をマップ上に表示させることができます。
座標データを現場に落とし込む場合や、現場の測点を探す場合に有用な機能です。



座標データを用意する

ナビゲーション機能は、探したい測点のデータをアプリ内に入れる必要があります。
測量データを入れる方法は、大きく分けて 2 種類の方法があります。

座標値を直接入力する

測点データを手打ちで作成する方法です。探す測点の座標さえ分かればアプリ内の操作のみで完結するため、少數の測点を探す場合に有用な方法です。

詳細な手順は 9 ページを確認ください。

外部から測量データを取り込む

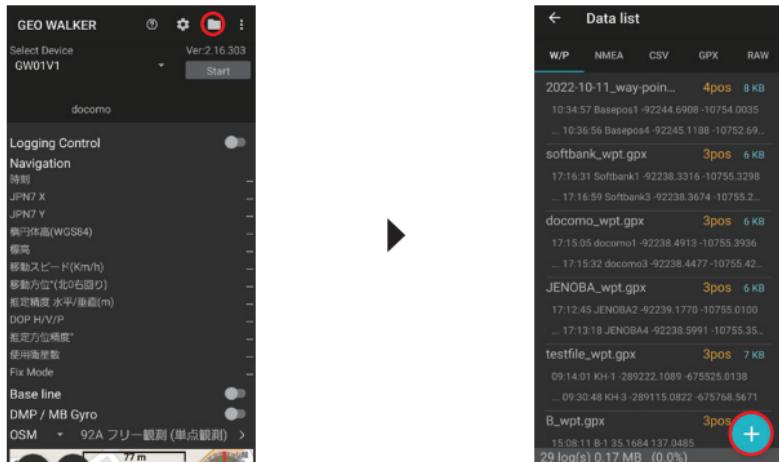
外部から測量データを取り込む方法です。取込には、端末内に測量データが存在し、サードパーティ製のファイル管理アプリがインストールされている必要があります。SIMA 或いは GPX 形式のデータのみ取り込むことができます。

詳細な手順は 11 ページを確認ください。

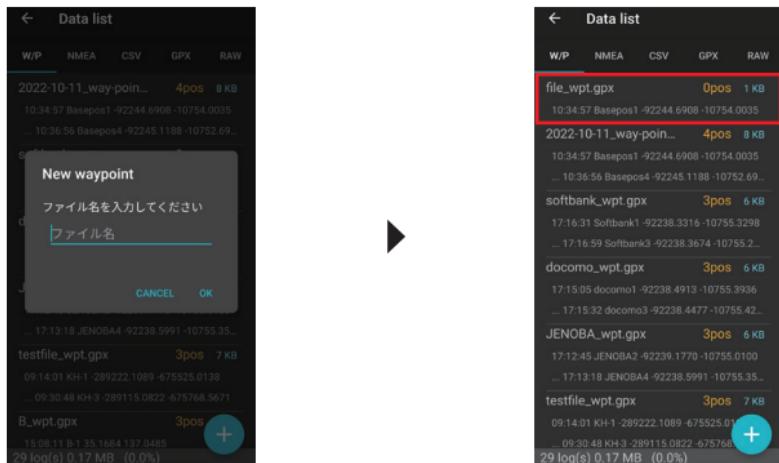
2-1. 座標値を直接入力する

座標データの分かれる資料を手元に用意して、以下の手順通り操作を進めてください。

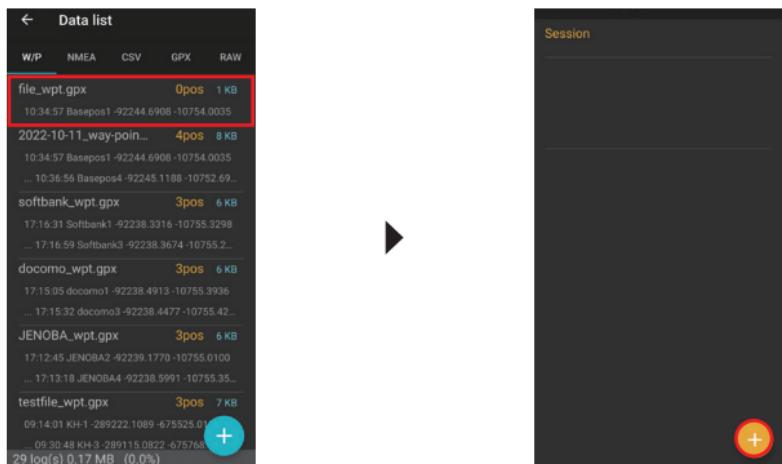
①トップ画面からファイルを開き、右下の  マークをタップします。



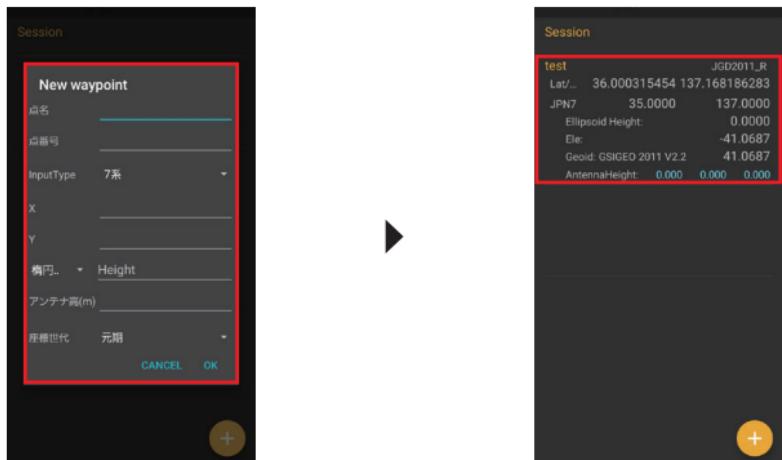
②任意の名前でファイルを作成します。



③作成したファイルを開き、右下の + マークをタップします。



④測点の情報を入力します。その後、データが入力されていることを確認します。



2-2. 外部から測量データを取り込む

以下の手順通り、操作を進めてください。

端末内に測量データを保存する

測量データが PC 等にある場合は、まず GEO WALKER アプリのある端末内に測量データを保存しなければなりません。端末への保存方法は3つあります。

①メールに測量データを添付して送信する

メールを利用して PC から端末へ測量データを添付して送信します。

届いたメールから測量データを保存してください。

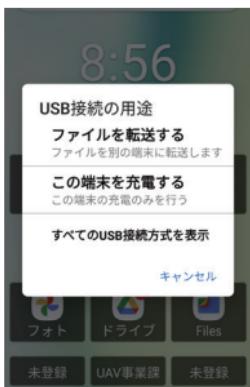


②オンラインストレージサービスを利用して、測量データを端末と共有する

Google drive 等のオンラインストレージサービスを利用してことで、PC と端末のデータをクラウドで共有することができます。詳細な手順はオンラインストレージサービスによって異なるため、記載しておりません。

③USB ケーブルで PC と端末を繋ぎ、データを転送する

PC と端末を繋ぐことで、PC の操作して端末へデータを送信できます。
データ転送が可能な USB ケーブルをご使用ください。データの転送方法は端末の OS や、機種によって異なるため詳細な手順は記載しておりません。



ファイル管理アプリをインストールする

データを端末に移した後は、アプリ内にデータを共有する必要があります。共有はファイル管理アプリを通して行います。Google play ストアで「[ファイルマネージャー]」と検索して、下画像のアプリをインストールしてください。

※その他ファイル管理アプリでも可能ですが、手順は本マニュアルに記載するものと異なる場合があります。

ファイルマネージャー

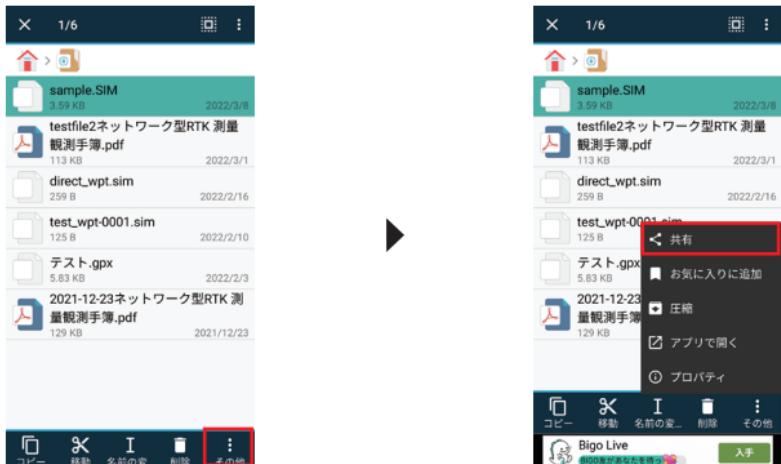
File Manager Plus
広告が表示されます・アプリ内購入あり

4.6★ 1億+
129万 件のレビュー ダウンロード数 全ユーザー対象

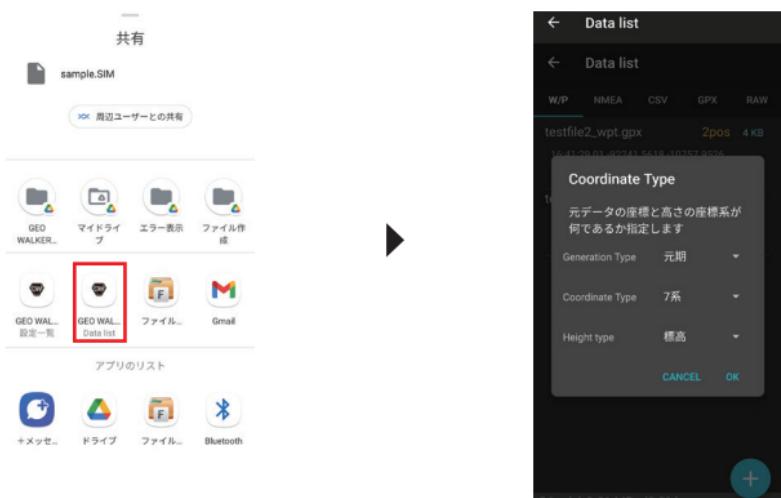
他のデバイスへのインストール



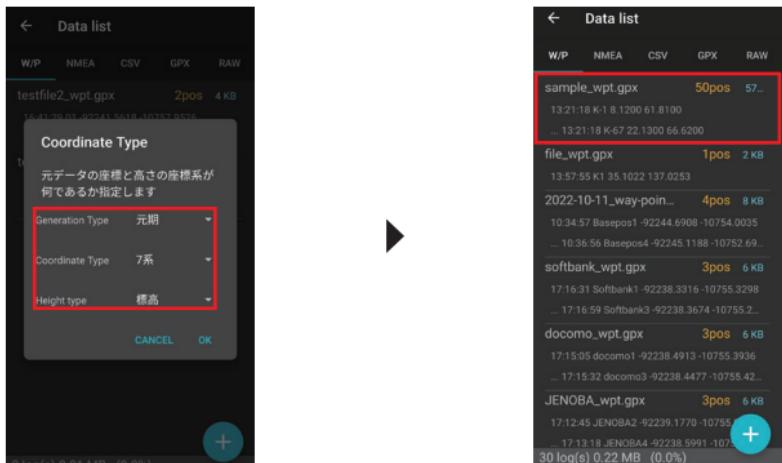
④右下のその他をタップして、共有を選択します。



⑤GEO WALKER アイコンの Data list を選択します。



⑥測量データの種類を選択します。データが取り込まれていることを確認します。



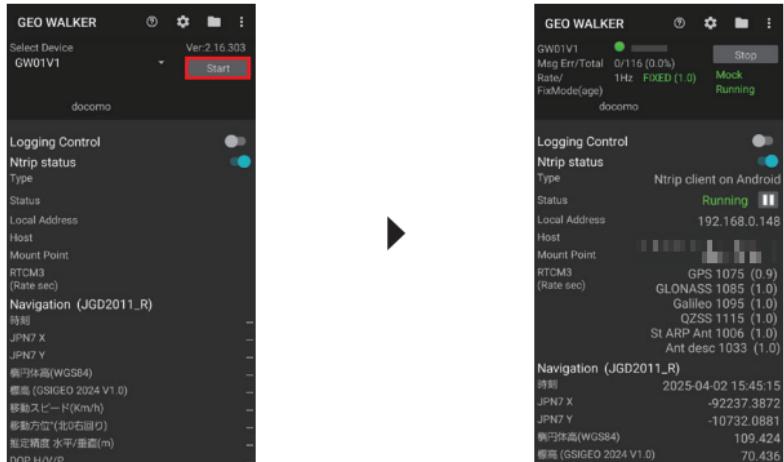
データの種類選択の内容について

Generation Type	座標の世代を選択します。
Coordinate Type	測量データの平面直角座標系を選択します。
Height type	測量データの高さの種類を選択します。

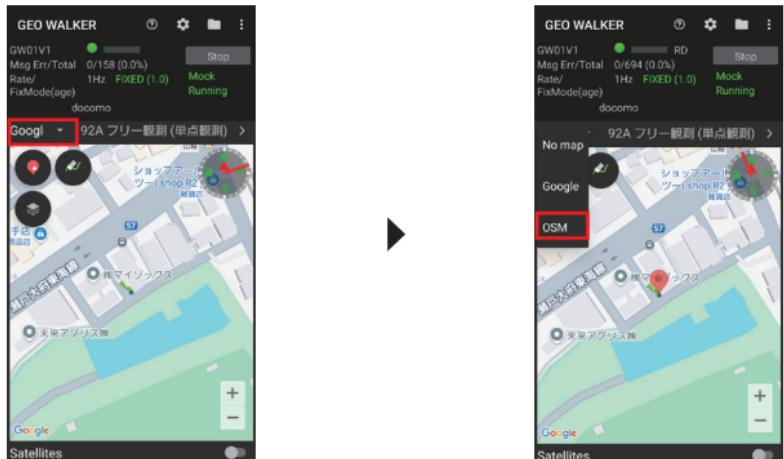
3. ナビゲーション機能

本項目は、座標データがアプリ内に存在している前提の説明です。
対象とする座標データがない場合は、本書の 2. 事前準備から参照ください。

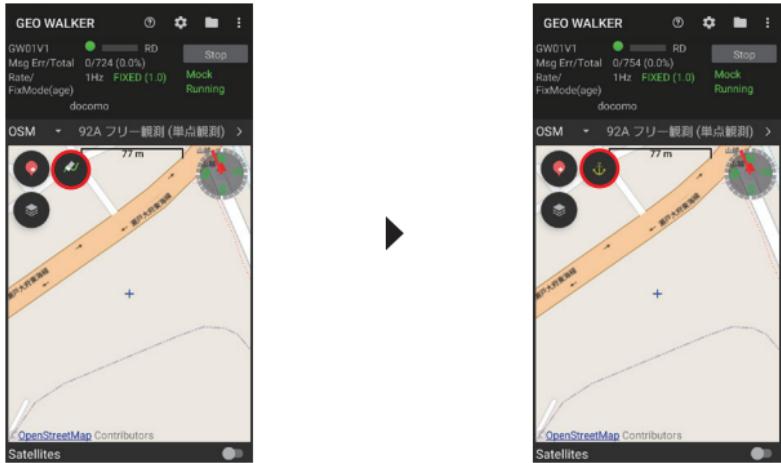
①計測を開始します。



②下にスクロールして、マップを Google から OSM に変更します。



③マップ左上の (消しゴム)アイコンを長押しして、 (錨)アイコンにします。

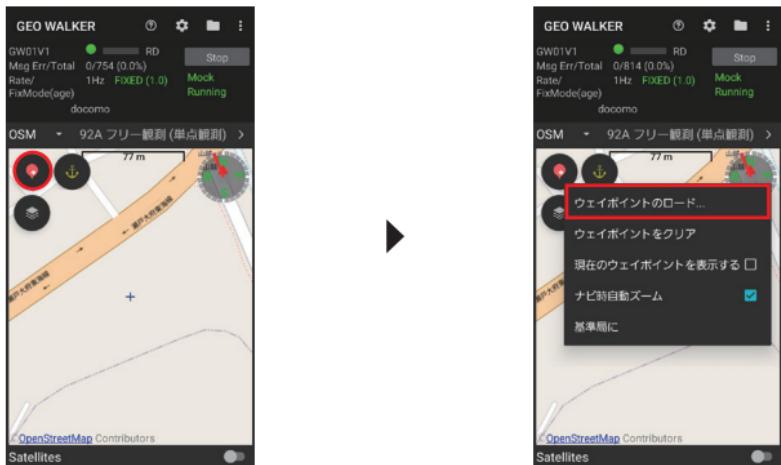


アンカーモードについて

消しゴムのアイコンを長押しすると錨のアイコンに変化します。この状態をアンカーモードと呼びます。アンカーモードにすると、アプリのスクロールがロックされ、マップをスワイプできるようになります。アンカーモードを解除する場合は、錨のアイコンを長押しして消しゴムアイコンに戻すことで解除することができます。

※アンカーモードは OSM (Open Street Map の略) の場合にのみ使用可能です。

- ④ (バルーン)アイコンを長押しして「ウェイポイントのロード…」を選択します。



- ⑤ バルーンアイコン長押しできること

ウェイポイントのロード…	指定したフォルダの測点をマップ上に表示する機能です。前日以降または名前を変更したフォルダのみ指定できます。
ウェイポイントをクリア	マップ上に表示されている測点を消去することができます。全ての測点が消去され、部分的に消去することはできません。
現在のウェイポイントを表示する	この項目にチェックを入れる事で、当日に計測した測点がマップ上に表示されます。
ナビ時自動ズーム	指定した点に近づくにつれて、マップの縮尺が自動で変更されます。
基準局に	GEO WALKER2 台を使った RTK 測量時などに、移動局の状態から基準局の状態に切り替えることができます。

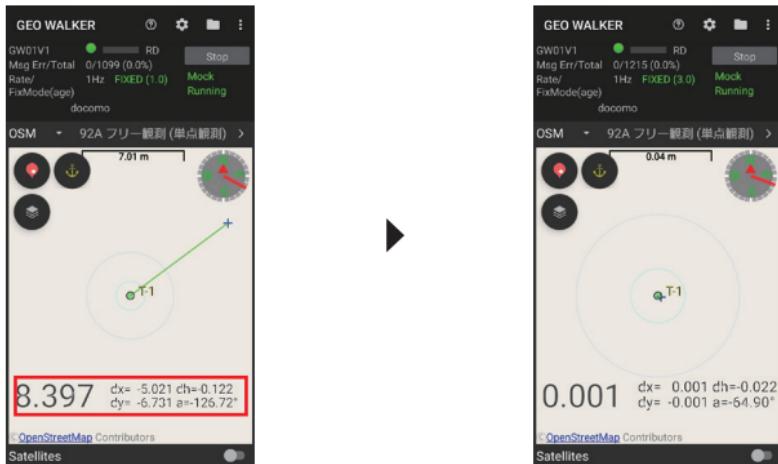
⑤誘導を行いたい測点を選択します。マップに選択した測点があることを確認します。



⑥誘導してほしい測点を長押しします。測点と現在地が線で結ばれます。



⑦マップと下の距離表示*(単位: m) を見ながら、測点まで移動します。



ナビゲーション中のサウンド機能について

目標の点に近づくと、音が鳴り測点が近くにあることを知らせます。
音は測点に近づいた場合と、遠ざかった場合で変化します。
マナーモードにしていたり、音量をゼロに設定している場合、音は鳴りません。